

健康 ぷらざ

そのかゆみ、 内臓のせい？

指導：広島大学大学院医歯薬保健学研究院 消化器・代謝内科学 教授

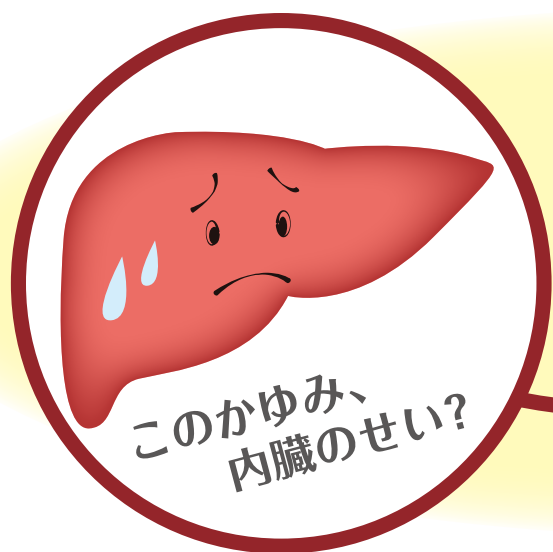
茶山 一彰

企画：
日本医師会

No. 452

かゆさの原因

虫刺されや衣服の摩擦などによる皮膚のかゆみは、誰でも一度は経験したことがあると思います。皮膚がかゆくなる原因は様々ですが、外からの刺激ではなく、内臓に疾患があるためにかゆみが出ることがあります。



肝臓の状態でかゆみも

例えば、肝臓の状態が原因でかゆみが出ることがあります。

肝臓には、体内の成分である胆汁酸たんじゅうさんを体外に捨てる働きがありますが、肝臓が正常に機能しない時にかゆみが出ます。

代表的な病気は、肝臓の働きそのものが悪くなる慢性肝炎や肝硬変、胆汁を体外に捨てる通り道となる胆管が詰まる原発性胆汁性肝硬変、胆管結石、胆管がんなどです。

これらの病気がひどくなると、皮膚などに黄疸おうだんが出ることがあります。かゆみが黄疸よりも早く現れる場合があり、肝臓病を早く診断できることがあります。

かゆみに対処するには

かゆみが出たらまず原因を考えてみましょう。虫刺され、アレルギーなど他に明らかなものがあれば、肝臓病によるかゆみではない可能性が高くなります。肝臓病によるかゆみは、お腹や背中、手足全体がかゆくなります。血液検査をすれば、肝臓病が原因かどうかはすぐ分かります。

かゆみの治療には、ぬり薬や飲み薬があります。また、かゆみで悩まないためには、皮膚の保湿をすること、かかないようにすることが大切です。

原因の心あたりがないのに全身がかゆくなったなら、かかりつけ医に相談しましょう。